

修士課程科目(H31)		授業形態	講義、演習	先端バイオ：必修2単位 高度メディカル：必修2単位 グローバル医科学：必修2単位
科目名	疾病論・病因論	ナンバリング コード		先端バイオ：GMDMFB1003 高度メディカル：GMDMAM1003 グローバル医科学：GMDMGM1003
テーマ	主な疾患の原因と発病機序を学ぶ			
開講時期	1年前期 金曜日6限(18:00~19:30)			
授業場所	共通教育棟502講義室			
担当教員	古川 龍彦 (連絡先：furukawa@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp)			
G I O	1) 病気の概念と病気を引き起こす主要な原因について理解する。 2) 主な疾患の発病機序と疾患に伴う形態的变化を理解する。			
S B O	1) 様々な病気を、その発症機序から分類することができる。 2) 細胞の障害機構と再生機構、壊死、アポトーシス、化生の概略を説明できる。 3) 発生異常とそれによっておこる主な疾患の発症機序の概略を説明できる。 4) 炎症と免疫異常とそれによっておこる主な疾患の発症機序の概略を説明できる。 5) 循環障害とそれによっておこる主な疾患の発症機序の概略を説明できる。 6) 腫瘍とその分子的発症機序の概略を説明できる。 7) 環境因子による疾患と法医学で取り扱う主な疾患について、その概略を説明できる。 8) 主な病態(特に腫瘍と炎症)について、肉眼的・組織学的に鑑別することができる。 9) 病理学・法医学で使用される主な研究方法について、説明できる。			
授業内容(90分×15回)			担当者	
1	病理学入門	東 美智代		
2	腫瘍総論	東 美智代		
3	主要臓器の腫瘍各論	谷本 昭英		
4	循環障害の病態	谷本 昭英		
5	炎症と免疫疾患1	原 博満		
6	炎症と免疫疾患2	原 博満		
7	がんの分子背景1	古川 龍彦		
8	がんの分子背景2	古川 龍彦		
9	代謝疾患の病態発症機序1	堀内 正久		
10	代謝疾患の病態発症機序2	堀内 正久		
11	死因論1	林 敬人		
12	死因論2	林 敬人		
13	腫瘍の臨床病理	濱田 倫史		
14	口腔腫瘍の病因と病態	仙波 伊知郎		
15	腫瘍学実習	仙波 伊知郎		
教科書・参考書	教科書は指定せず、参考文献を必要に応じて提示する。			
評価基準 および方法	講義への積極的参加・・・70%, 実習への積極的参加・・・30%			
アクティブ・ ラーニング	方法：⑤授業シート、講義中の振り返りと実習 回数：15回中8回			
時間外対応	オフィスアワー	19:40~20:10 火曜と木曜日：メールで事前連絡してください。 メールで相談いただければ他の時間も対応します。		

	メール・HP	furukawa@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp
	授 業 後	授業終了直後に、質疑応答や相談を受ける。
そ の 他	様々な連絡に必要なので、メールアドレスを登録してください。実際の担当の日程は授業開始時に連絡します。	